

2023 年
9 月 27 日
NO.48

全国 OB 会ニュース

日本貨物鉄道労働組合
全国 OB 会
発行人 藤原 博之

＜第 26 回全国 OB 会定期総会開催される＞

J R 貨物労組全国 OB 会は、9 月 14 日目黒さつきビルにおいて、第 26 回定期総会を開催しました。

総会冒頭、昨年亡くなられた OB 会員の、ご冥福を祈り黙祷を捧げ、議長に、関東選出の山崎幹事を選出し、議事は進められました。

幹事会を代表して藤原会長は、地球温暖化により、世界的な異常気象に見舞われている。日本においても、連日の猛暑と集中豪雨による被害が報道されています。ロシアによるウクライナ侵攻から 1 年 8 カ月経過しているが、欧米などは武器を供与し戦争を長引かせている。日本の岸田総理は、戦争の終息よりもウクライナ戦争を口実として防衛力を強化し、防衛費を 5 年間で 43 兆円とし、日本を戦争の出来る国へと加速させています。OB 会も現役の組合員とともに、平和を守る取り組みに責務的に参加していきます。

OB 会員は、1000 名を割っています。国鉄採用者は、60 歳を超え、平成採用者も 60 歳まで 10 年あります。シニア組合員の未加入者へ働きかけで魅力ある OB 会、楽しい OB 会をめざします。

今後 OB 会の課題は、いわゆる 2025 年問題であり、年金・医療・介護等の社会保障制度の改悪が想定されます。社会保障の切り捨てに対し、J R 総連 OB 会、退職者連合の仲間とともに、たたかいの声を上げていきます。



来賓には、阿部副委員長と松村特執に参加いただき、阿部副委員長から貨物の現状について、追い風が吹いているが受け止めきれない、前年より収入は下がっている、災害に弱く、代替輸送の問題等の挨拶がありました。

池尻青年部長からは青年部35年の道の発刊できた。今の青年部員の特徴は、自分の時間を大切に、組合運動に対する思いも千差万別です。今後もOB会からの指導をお願いしますとの挨拶を受けました。

その後、経過報告、決算報告、会計監査報告の承認を受け、23年度活動方針(案)・23年度予算(案)が提案され、各地本から取組みの報告を受け、満場一致承認され総会は成功裡に終了しました。

新役員体制

会 長	藤原 博之	関西・岡山機関区	(再)
副会長	並木 明	関東・大井機関区	(再)
事務局長	伊藤 憲治	関東・新鶴見機関区	(再)
幹 事	小澤 光之	北海道・札幌機関区	(再)
	熊谷 章一	東北・東青森駅	(再)
	山崎 智	関東・大井機関区	(再)
	迫 米蔵	東海・稲沢機関区	(再)
	林田 則夫	関西・吹田機関区	(再)
	西原 重延	九州・門司機関区	(再)
	武藤 稔裕	本部 愛知機関区	(再)
会計監査	清水 道雄	関東・隅田川機関区	(再)
	中村 靖治	関東・新鶴見機関区	(再)

長年、幹事・副会長を務めた新井計三さんが退任いたしました。

本部及び総連各単組の皆さんには大変お世話になりました。

